



9.2 「水俣に学ぶ肥後っ子教室」(5年生)

県内全ての5年生が水俣市(環境センター、水俣病資料館等)を訪れ、学習するものです。コロナにより本校では3年ぶりの現地訪問となりました。

水俣病に対する偏見や差別の問題、地球規模での環境の変化から身近なゴミの分別までの環境問題など、SDGsの視点から学びを深めることができました。現地での学びを振り返り、学習発表会等を通じて、学びの成果を発信していく予定です。「語り部の会」会長の緒方正実さん(建具店経営)の講話があり、ご自身が制作された「祈りのこけし」の寄贈がありました。



菊陽中部小学校 様

水俣病の被害に遭い、苦しみながらも失われた人間、魚、鳥、全ての思いが宿っていると思われる。水俣湾埋め立て地にある、実生の森の木の枝で彫った「こけし」です。

失われた全ての生命に祈りを捧げながら、「命の大切さ」と、二度と水俣病のような悲劇が繰り返されないよう、願いを込めて彫り続けています。

白木のままで、目や鼻や口を描いていないのは、未完成の意味です。受け取られたみなさまの思いの中で完成させて下さい。
水俣病資料館語り部 緒方正実

9.7 研究授業、3年2組国語「サーカスのライオン」

3年2組担任の井本教諭が、国語の授業を行いました。

サーカス小屋の古老ライオン(じんざ)が一人の少年と出会います。ある日のこと、その少年がサーカス小屋の火事に遭い、じんざが命をかけて助けるといってお話です。自分の命を顧みず、火の中に飛び込んだじんざの気持ちを皆で考えました。子どもたちの豊かな感性を感じた授業でした。



9.21 研究授業、2年1組算数「たし算とひき算のひっ算」



2年1組担任の渡邊教諭が授業を行いました。

3桁から2桁を引く、筆算の学習で、繰り下がりが2桁になるものです(103-67)。誰もが悩んだ経験があるのではないのでしょうか。上の位から10借りてきて、10ではなく9になる謎を皆で考えました。謎を解いた後の適応問題では、しっかり理解してスラスラ解けていたようです。

10.7 前期終了

令和4(2022)年度も前期が終了できました。保護者、地域の皆様には、本校教育へのご理解とご支援、ご協力に感謝致します。授業日数は夏休みを挟んで94日、コロナによる学級閉鎖、台風による臨時休校などありましたが、運動会をはじめ、様々な行事や活動等を通して、子どもたちの着実な成長を実感しています。10月13日(木)から始まる後期も、子どもたちの活躍を期待しています。